



議会だより

第28号

みなべ

平成24年2月1日

発行 みなべ町議会

編集 議会広報特別委員会

〒645-0002 和歌山県みなべ町芝742

TEL 0739-72-1334

FAX 0739-72-1335

～紀伊半島大水害～

まけるな!! 和歌山



上南部中学校では、毎年、校区内の80歳以上の高齢者に、自作のジャンボ年賀を元旦に届けています。

(ジャンボ年賀を受け取る山田元町長)

議案審議 P2～3

一般質問に6人が登壇 P4～9

意見書2件採択 P10

常任委員会報告 P11

サークル紹介 P12

議案審議

みなべ町税条例等の一部を改正する条例案や指定管理者の指定4件、平成23年度一般会計の補正予算などが、議会最終日（12月21日）に審議されました。
その主なものを報告します。

税条例105条の鉱山税

Q 鉱山税の納税対象者は、町内にいますか。

A 鉱山の掘削の事業を行う者などで、現在は、町内にはいないと思われる。



ひかり保育所

光ケーブル

Q 台風12号で被害のあった、軽井川・島之瀬・市井川地区3ヶ所の対応は。

A 位置については、同じ場所に設置する予定で、樹木による被害場所は、伐採などの維持管理を行います。

ひかり保育所の指定管理者の指定

Q 現在の児童数と保育士の職員数は。

A 2歳児が7名、3歳児が10名、4歳5歳児が19名の計36名です。職員数は、園長と保育士5名の計6名です。

給食施設費

Q 今回購入する土地購入費の内訳は。

A 購入費4,694万円の内訳は、先に土地開発基金で購入した1,004㎡、4,016万円の返済分と、新たに土地を購入する113㎡、678万円の合計です。

Q 物件補償の内容は。

A 物件補償費645万円の内訳は、基金で補償した梅木465万円の返済分と、新たに補償する30㎡の倉庫、180万円の合計です。



崩壊した高城小学校の法面

高城小学校法面工事

Q グランドアンカー工法は、どのようにされるのか。

A 地すべりの抑止工法で、基盤内に定着させる削孔を行い、法面に高強度の鋼材を引張り材として挿入します。

Q この法面の復旧予定時期は。

A この法面の復旧予定時期は、現在、国において精査中です。精査後は、1日も早く発注し、復旧したいと考えています。

学童保育所

Q 南部川地区などから、学童保育所の設置要望はあるが。

A 上南部地区や清川地区からの要望があります。

新しい学童保育所の設置が、または空き教室を利用した学童保育所かを、今後検討していきたいと思っています。



南部小学校学童保育所



うめ21研究センター

うめ21研究センターの修繕は

Q 修繕費494万円の内容は。

A センターの入口から最終排水路と、ヘコルゲートU字フリーユムの修繕264万円。それに、飲料水ろ過機の230万円です。

国道424号への設置看板

Q うめ21研究センター下の国道に設置している看板の修繕時期は。

A この看板は、備長炭振興館の看板であります。産業課から観光協会を通じて、整備することになっています。

公共下水道事業堺地区污水管渠布設工事請負契約の締結

Q 入札額と契約書の差額は、水道工事という説明だが、その内訳は。

A 水道の本設工事契約額が743万円と、仮設工事が25万円となっています。

Q 落札業者は町外業者になっているので、

A 下水道工事部分のみ、分離発注したらと思うが。下水道本管のすぐ近くに水道管が埋設している所が多い状況です。現場での工事施工状況や地元との調整を図るために、合併入札としています。

●平成23年第2回臨時議会

- 平成23年11月28日に開かれた臨時議会では、
- ・みなべ町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について
 - ・堺漁港海岸津波・高潮危機管理対策水門設置工事請負契約の締結について
 - ・土地改良事業の変更について
- の議案を審議し、すべて可決されました。

一般質問

一般質問は12月16日に6人の議員が行いました。(質問者から提出された原稿とおり掲載しています)



竹本栄次 議員

安心・安全な町づくり

企業誘致

質問

水産業や梅産業の低迷などにより、若者後継者が継ぎにくい状況であります。

町内に、若者が多く残っていたためにも、働く場所として、積極的な企業誘致に取り組んでいただきたい。

町長

後継者問題など、同じ思いがあります。

町内の労働状況などを見てみますと、梅産業関連事



業で約1,500人が雇用されていますが、内訳については町内で3分の1、町外で3分の2という状況になっています。

企業誘致につきましては、用地確保など非常に難しい部分もありますが、常に情報を収集し、県と一緒に頑張って努力していきます。

台風12号による災害

質問

災害復旧は、原形復旧が基本であるという事はわかりますが、原形復旧で解決できない場所は、どのように対応するのかを、お聞きします。

町長

やはり原形復旧が基本であり、事業費などは国の査定によって決定されます。

大規模災害などの復旧については、受益者となる地元関係者との協議や県にも検討協議を行って、国に申請していますが、査定段階で必ずしも、要望とおりにならないこともあります。



河川のゆ堰

質問

川原ゆ堰のことですが、水の流れを良くするためにも、上流と下流の落差が26メートルもある場所には、転倒ゲート設置の検討をするべきだと思いますが。

町長

県営の農業用河川工作物ですが、現在の堰を転倒ゲートに全面改修する場合、相当な費用がかかります。

この事業につきましては、合併協議のなかの新町づくり施策に掲載されている事業ですので、前向きに検討していきます。

質問

防災面からも早く転倒ゲートにするべきだと思います。仮に、1.5メートルの転倒

ゲートに改修したら、河川の水位が下がり、片山地区の水害被害は緩和されたのではと思いますが。

町長

防災面を重視し、前向きにどういう方法があるのかを検討しながら、県に相談し、強く要望させていただきます。



国道424号の歩道

質問

平成19年3月議会、会、筋・徳蔵地区の歩道の取り組みを質問しましたが、その後の経過状況について、お聞きします。

町長

歩道がない危険な場所であるため、県も歩道の必要性を十分認識しています。

事業化に向けて、県に要望していきます。



天野 仁 議員

大地震による被災患者への医療体制は

傷病者は、どこへ搬送するのか

質問 平成17年から毎年、町防災避難訓練を実施し、今年で7回目の訓練を迎えた。

東日本大震災を教訓に、関東から関西の太平洋側でも、いずれは起きるプレート型大地震の新たな見直しが問われているが、本町の被災患者予想は、どのような数字になっているのかをお聞きします。

町長 季節や時間帯で異なりませんが、東海・東南海・南海の3連動地震が起きた場合のマグニチュードは8.6で、震度7として想定された防災計画では、死者200〜253人、負傷者201〜265人となっています。

救護所開設、トリアージを

質問 傷病者が多い場合、最優先治療群・待機的治療群・保留群・死亡群と言う、4段階トリアージの識別に区分されていると聞いているが、町の対応について、お聞き

します。

町長 医療救護所は、はあと館・ふれ愛センター・高城診療所などに設置し、清川地区は、県に医療チームの派遣を要請するなどして対応したいと考えています。

負傷者が多数の場合は、4区分のトリアージが、医師・保健師により実施され、重症者から優先的に治療することになります。

頼りはお医者さん

質問 震災後の共助については、自主防災連絡協議会などで、レベルアップしていると思うが、負傷した場合は、医師に頼るしかない。

町内の医療機関や開業医からなる医師会とは協議されているのかを、お聞きします。

町長 町内の医師会とも平成20年・21年にも協議した結果、平成22年にトリアージを取り入れた医療救護所の開設演習を実施しています。

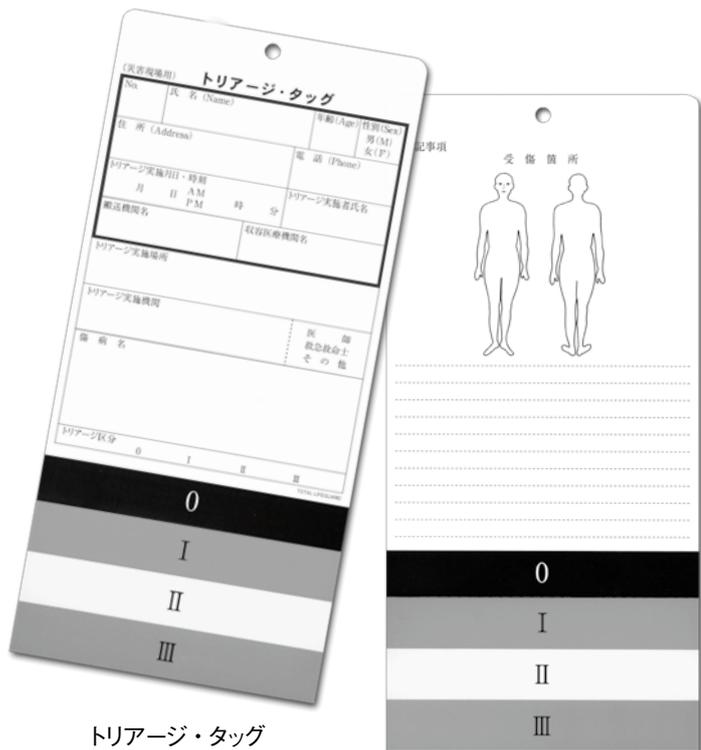
今後、体制整備に努めていきたいと思っています。

広域医療機関体制は

質問 多数の負傷者がいる場合、広域医療機関にも対応していただくことも必要になるが、日高や西牟婁の受け入れ体制は整っているのかを、お聞きします。

災害時の医療救護活動の中核施設

町長



トリアージ・タグ

である拠点病院は、紀南病院と日高総合病院が指定されています。

また、支援病院は、南和歌山医療センターや白浜はまゆう病院、和歌山病院が指定されています。

ただ、避難救護所で医師の判断をいただいてから、拠点病院に搬送するということになると思います。



中井重雄 議員

台風12号豪雨による その後の復旧対策

法手見トンネル 付近の通行は

質問

台風12号による、その後の復旧対策として、国道424号法手見トンネル付近について、お聞きします。

関係者の努力などにより、11月末で仮復旧工事が終わって、島之瀬ダムへの迂回もなくなってきました。清川の皆さんは非常に喜んでいますが、いまだに2トン以下の車輛しか通行できません。

6月までには、大型車輛も通行できるように仮工事を予定していますが、6月までと言わずに、もっと早く工事ができないのですか。町長自身、梅の収穫時期までに大型車輛が通行できれば良いとお考えですか。もっと、国や県に対して声を大にして、早く大型車輛が通れるように要望してはごうですか。

この災害で、県下の国道で大型車が通れるように復旧されていないのは、ここだけではないのですか。

将来的な工事も考えて、もっと早く、工事を急がせてはごうですか。町にとっては、国道42

4号は絶対重要な道路ですので、早い復旧をお願いします。

町長

いまだ、2トン以下であるという部分と、もっと早くできないかと言ったこととありますが、県に確認をしたところ、12月21日には、国の査定を受ける予定です。

復旧方法などにつきまして、査定が終わってから連絡をいただくことになっていきますので、それまで待ちたいと思っています。

一日も早い復旧に努めていただくように、県に強く要望していきたいと思えます。



法手見トンネル付近

旧西本庄橋は

質問

次に、東本庄と西本庄にかかる旧



通行止めの旧西本庄橋

西本庄橋について質問します。

先般の豪雨により橋桁が露出し、現在は通行止めになっていますが、町としてこの橋を、どのようにするか、お聞きします。

また、東本庄や西本庄地区住民の要望をしっかりと聞いて、早く結論を出すべきではないでしょうか。

町長

平成17年に橋梁点検を行った結果、重量制限しましたが、今回の豪雨による漂流物と水撃により、どの程度の被害が生じていたのか、また今後どうすべきか検討中で、その間、通行止めになっています。

給食センターの体制は



山中邦夫 議員

質問

南部小・中学校での給食実施は、平成25年4月からと明らかにされています。

そこで、給食実施に関する新たな課題があると思われ、教育委員会の考えをお聞きします。

まず、給食センターの体制についてですが、給食センターで働く調理員をはじめ、職員は現在の倍以上になるのではありませんか。

教育長

給食センター長・教育次長の兼務では、当然やっていけないと考えています。

調理員だけで、米飯まで行うと、14、18名ぐらい必要だと考えています。

大きなセンターを動かす



給食センター

ことになる、人員管理が一番大事だと思っています。ほかに、様々な課題を専門的に検討する職員や運転手も必要です。

来年10月以降には、調理員などの採用を行いますので、それまでに体制を作っていくかと思っています。

給食の選択制

質問

次に、給食の選択制についてです。

最近、学校給食を始めている市町では、給食を希望する人だけに、給食を提供するという選択制を行っています。

これについて、教育委員会の考えをお聞きします。

教育長

周辺市町の例で言うと、御坊市は選択制でスタートしましたが、現在は全員給食になっていますし、田辺市は全員給食でのスタートです。

平成18年度に実施した給食アンケートでは、保護者の11%が給食に否定的な回答がありました。

どちらかを採択するにしても、関係者の皆さんから意見を聞いて、方針を決めていきたいと思っています。

給食補助員

質問

続いて、給食補助員についてです。

南部小学校は、何となく、初めての給食実施です。



センター内部

先生の中には、給食実施校での勤務経験を持つ先生もいますが、生徒の中で低学年への給食については心配です。

一定期間の間、給食補助員を配置できませんか。

教育長

県内で、給食補助員を配置している学校はありません。

それで、給食実施直前の3月中の1週間を、給食の試験期間として実施したいと思っています。

これで、上手く行える見込みがあれば、ボランティア的な体制でも行えるのかなと思っています。

皆さんのいろいろな意見をいただきたいと思っています。



田中昭彦 議員

高齢者に多い肺炎球菌への ワクチン接種に補助を

質問

今年是全国的に、肺炎が流行していると言われています。

日本人の死因の4番目は肺炎で、特に70歳以上の高齢者の方がかかるのが、肺炎球菌を病原とする肺炎です。

この肺炎は、12年前までは、日本では全く知られておらず、翌年から急に、新聞・テレビで採り上げられるようになったものです。この肺炎に対するワクチンを一度接種すると、5年間の効能があり、その後も少なからず効能が続きます。そこで、このワクチン接種に補助金を出して欲しいとの要望です。

保険がきかない自由診療のため、接種には7千円前後を要します。

その一部でも補助することができないでしょうか。インフルエンザワクチン同様、ほとんど副作用がなく、高齢者の方への、接種を促す宣伝効果もあると思います。

町長

町内のお医者さんにお聞きしますと、高齢者の肺炎の原因は肺炎球菌によるものが非常に多いとのこと。先日の全国町村会の大会でも、安全性が確認され、予防効果が高いワクチンについては予防接種法の対象にし、財源措置をとるよう

肺炎球菌ワクチン予防接種予診票

接種希望される方へ、次ワケ内にご記入下さい。

住所	TEL () - () - ()
受ける人の氏名	生年月日 昭和・大正・昭和 年 月 日生
家族の氏名	年齢 (満 歳 カ月)

質問事項	回答欄	医師記入欄
肺炎球菌ワクチン(ニューモバックス)の接種を受けたことがありますか?	はい い/いい	
今日、体の具合が悪いところがありますか?	はい い/いい	
具合が悪い症状を置いてください		
最近1か月以内に病室にかかりましたか?	はい い/いい	
病名()		
1か月以内に予防接種を受けましたか?	はい い/いい	
予防接種名()		
生まれてから今までに特別な病気(心臓、血管、血液、腎臓、肝臓、脳神経、免疫不全症、その他の病気に)かかり医師に診察を受けていますか?	はい い/いい	
病名()		
薬や食品で皮膚に発疹やじんましんが出たり、体の具合が悪くなったことがありますか?	はい い/いい	
これまでに予防接種を受けて具合が悪くなったことがありますか?	はい い/いい	
予防接種の名前()		
家族に予防接種を受けて具合が悪くなった人がいますか?	はい い/いい	
医師の記入欄		
以上の問診および予診の結果、今日の予防接種は(可聴・見合わせる) 医師のサイン		
予診の結果を聞いて今日の予防接種を受けますか (はい・見合わせる) 本人又は家族のサイン		

使用ワクチン Lot No.	接種経路	実施場所・接種医師名・接種年月日
ニューモバックス Lot No. カルテ No.	筋肉内・皮下 (接種量: 0.5mL)	実施場所 医師名 接種年月日 平成 年 月 日

予防接種予診票

「街コン」の勧め

質問

国へ要望いたしました。今後、町内の医師会の先生方の意見をお聞きしたり、財政的な面については、国・県の制度を待っているばかりではなく、町は町として、いくら補助するのか、

前に二度、町主催の婚活活動について質問しました。

7年前に、栃木県宇都宮市で始まった街コンが、今や全国に広がっています。

千人前後の大規模な合コンで、独身男女が街中の飲食店へ繰り出し、出会いを求めるものです。

参加人数が多いので、気軽に参加でき、うまくいかなかった場合でも落ち込まず、友達を誘って行けますので、何回でも開催してほしいという要望があるそうです。

みなべ町は、田辺周辺広域市町圏組合に参加していますので、田辺市を中心とした広域で、開催してみたいでしょうか。

どのような形で行うのか、色々な考え方で進めていきたいと思っています。

町長

小さな町での交流場では、参加者が少なく、参加しづらい面があります。

一度、田辺周辺広域市町圏組合の理事会に提案してみたいと考えていますが、あらゆる方法や機会をとらまえて、交流する機会が増えるように努力します。

他の質問

● 災害に備えて、段ボールベッドの備蓄を質問しました。

意見書 2件採択

大幅増員と夜勤改善で安全・安心の 医療・介護を求める意見書

東日本大震災では、地域医療・介護のネットワークの重要性と医師・看護師などの必要性を認識されたと思います。しかし、医療現場は、長時間・過密労働であり、看護職員などの労働環境は厳しさを増し、離職者も多いことから、全国各地で医師や看護師などの人手不足が深刻化しています。看護師などの夜勤交代制労働者の労働条件の改善と、人手を大幅に増やして、安全・安心の医療・介護を実現するためには、社会保障予算を充実に、国民が安心して暮らしている制度が必要で、

記

1. 看護師など夜勤交代労働者の労働時間1日8時間、勤務間隔は12時間以上を守ること。
2. 医療、社会保障予算の充実に図り、医師・看護師・介護職員などを大幅に増やすこと。
3. 患者・利用者の負担を減らし、安全・安心の医療・介護を実現すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年12月21日

みなべ町議会

送付先 内閣総理大臣・財務大臣・

厚生労働大臣



独立行政法人国立病院機構 和歌山病院の充実を求める意見書

東日本大震災では、国立病院をはじめ、公的医療機関が大きな役割を果たしており、改めて公的医療機関の必要性を認識されたと思いますが、当地域でも、東南海・南海地震による被災が予想されているなか、更なる医療機関の充実が望まれています。

医師・看護師不足や公的病院の縮小・閉鎖によって、救急患者の受け入れ先がないなど、地域医療が崩壊しかねない事態が全国で生じているなか、国立病院は、がん・循環器などの高度医療や研究とともに、重症心身障害、筋ジストロフィー、結核・感染症、精神医療、災害医療、へき地医療など、民間では困難な分野を担い、地域医療においても重要な役割を果たしています。

しかし、政府は「独立行政法人の原則廃止」を掲げ、昨年4月に行われた「事業仕分け」では、国立病院に対して「非効率」病床の削減など更なる「経営合理化」を求める意見が出され、「事業規模の縮小、他の公的病院も含めた再編成の検討など」のとりまとめられたが、防災の角度からも十分な検証を行い、見直すべきです。

和歌山県日高郡美浜町にある独立行政法人国立病院機構和歌山病院（375床11診療科）は、循環器・呼吸器（結核を含む）・重症心身障害児（者）・神経難病などの診療を担い、地域医療支援病院の認定を受け、地域の開業医・診療所と医療連携の強化に取り組むなど政策医療・地域医療に大きな役割を果たしています。

いつでもどこでも、だれでも、安心して医療を受けることができる体制づくりと、和歌山病院の充実を図るための対策を講じられるよう、国に対して左記事項について実施されるよう重ねて強く求める。

記

1. 和歌山病院を縮小・廃止、民営化することなく、充実強化を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年12月21日

みなべ町議会

送付先 内閣総理大臣・財務大臣・厚生労働大臣

産業建設常任委員会 視察研修

平成23年11月24日から25日の2日間、佐賀県伊万里市のJA伊万里の梅振興と、武雄市の「いのしし課」の取り組み視察研修を行った、その一部を報告します。



初日は、JA伊万里で、梅振興についての説明を受けました。伊万里地区国営農地開発が、昭和63年度から始まり、平成10年で完了した。農地造成面積は100haで、うち45haに梅が栽培されている。平成5年12月に梅の栽培を開始し、うぐいすヶ丘営農組合が設立され、平成8年4月には、JA伊万里梅部会の設立（部会員104名）、平成9年より伊万里梅園植栽が始まった。平成12年3月には、大型選果機を導入し、平成16年3月には、一次加工施設を整備している。現在の生産農家は100戸で、年齢は65〜70歳が中心となっていることから、後継者育成が課題になって



いる。栽培品種の構成は、南高梅が65%・古城30%・小梅5%となっている。生産量は、平成11年は30トン・平成15年は150トン・平成20年は420トン、平成23年は300トン（低温障害のため）であった。梅部会の取り組みについては、共同防除によるコスト削減、先進地視察研修、梅まつりの開催による消費者との交流などを行っている。今後の課題などについては、結実や生産安定対策、青果販売の確立、二次加工品の開発などがあります。



2日目は、武雄市を訪問し、いのしし課の取り組みについて説明を受けました。10年前から、イノシシによる農作物への被害を受け、近年では市街地周辺地域まで出没し、交通事故や人的被害も懸念される状況となったことから、市民の相談窓口として、「いのしし課」が設置された。イノシシ被害状況については、平成22年度農作物被害額は1,335万円にのぼっている。また、タケノコや栗、田畑の畦、林道、ため池などの法面の掘り起こしなどの被害もあった。対策として、猟友会に駆除の委託や箱ワナの貸与、



電気柵やワイヤーメッシュ柵などによる侵入防止対策などを行っているほか、イノシシ追い払い用犬「公務犬」の導入も予定している。また、食肉加工施設との連携により、捕獲促進を図り、それらを無駄にせず、地域の食資源として活用するため、地元商工会議所青年部や町おこし団体と協力連携し、シシ鍋・シシ汁などの試食会などを実施しながら普及に努め、イノシシ肉の特産品化をめざしています。

サークル紹介

川柳クラブ



第二・四の金曜日午後、中央公民館で行っています。最初から先生なしで、自
分達で勉強し、この会で俳句も勉強しています。

- 発足 平成3年
- 現在 世話人 西玉 節衛
会員数 5名
- 活動

一言(川柳クラブ)

発足当時から5名で、句を持ち寄り、月二回、顔合
わせて勉強し、楽しんでい
ます。
また、地方紙へも投稿し
ています。

はまゆうクラブ (大正琴)



第二・四の月曜日午前中、公民館で練習しています。
農家の方もいますので、農繁期はお休みにし、無理なく続けられるようになっています。

- 発足 平成元年
- 現在 代表者 堅田美代子
会員数 7名
- 活動

一言(はまゆうクラブ)

先輩方の残してくれた足跡を追いながら続けていま
す。メンバーは入れ替わっ
てきましたが、「健康のため
に楽しく」をモットーに、
頭の体操と気持ちのリラ
クゼが出来るからと思
い、気楽に練習を楽しんで
います。

あとがき

昨年は、東日本大震災や
台風12号による豪雨災害な
ど、大変な年となりました。
今年も、議会・執行部も
町民の皆様と一緒に
1日も早い復旧と復興に向
け取り組んでいき、元氣あ
る町づくりを目指してい
きたいと思っております。
皆さまの議会への、ご意
見や要望をお待ちしてい
ます。
(原)